

## ■■ INDEX ■■

1) 12月の出来事・12月の数字	P.1
2) 首都圏マンション市場動向	
1. 2011年11月の新規マンション市場(首都圏)	P.2
2. 2011年11月の中古マンション市場(首都圏)	P.3
3) マーケットビュー	
1. 2012年1月の主な供給スタート物件一覧	P.4～5
4) データファイル	
1. 各社の動き	P.6～P.15
2. 新規マンション市場データ(エリア別)	P.16～P.20
3. 中古マンション市場データ(エリア別)	P.21～P.26
4. 新築住宅着工データ(首都圏)	P.27～P.28
5. 首都圏分譲マンションの流れ	P.29

## ■■ 2011年12月のダイジェスト ■■

### テーマレポート1) 2012年のお客様の動きはいかに ～「2012年の住宅購入計画調査」より～

■「3.11」という未曾有の大震災があった2011年も終わり、新しい年が始まります。首都圏マンション市場については、2011年秋以降、ようやく月間での新規供給戸数が前年同期を上回る様になり、回復の兆しが見られるようになってきました。また、お客様の来場・申込状況についても、物件により勢いが感じられるものが出てきています。

“市場回復の兆し为本流となるかどうか”、今後の市場を占う意味でも、2012年年初の動きは非常に重要なポイントと考えられます。

■本レポートでは、『先行き不透明な経済環境の2012年、お客様の動きはどうなるのか?』、2011年12月に実施した調査結果を基に予測しました。

### テーマレポート2) 2011年 首都圏マンション市場速報 2012年 年初の注目物件

■2011年市場の速報として、①供給戸数、②分譲中在庫戸数、③着工動向を検証致しました。

⇒①供給戸数は、約44,000～45,000戸程度と2010年並み。

⇒②分譲中在庫戸数は、近年、供給される量の減少も影響し、ボリュームは低水準。

⇒③分譲マンションの着工は、23区中心であるものの、近郊・郊外エリアでの着工も増加している。

■2012年年初から、数多くの新規スタート物件が登場。特に、総戸数1,000戸超の話題性に富むビックプロジェクトが始動。2012年の市況を牽引する事が期待される。